

へいせい ねんど
平成29年度 ビルクリーニング技能検定
きゅう がっかしけんもんだい
3級 学科試験問題

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題 A群 (真偽法25題)

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。(電源は 予め切り、バッグ等にしまっ
て下さい)
- (2) 机の上に受検票 及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認して下さい。もし、異常があった場合
には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、等級、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、等級、受検区分および受検
番号を必ずマークして下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A群 (真偽法25題) の25題です。
真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤の、どちらか
一つを記入します。
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、
試験問題の内容についてはお答えできません。また、退室後は試験が終了するまで
再入室ができません。
- (11) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って
下さい。試験開始後30分間は退出できません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
- (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
- (14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

■ A群 (真偽法)

1. 木材は加工しやすく、木目がきれいなため床に限らず壁、建具、などの材料として使用されている。
2. 自在ぼうきは隅々をよく掃くことができる。
3. 建築物清掃は建築物の美しさを増し、建築物を長持ちさせることにも役立つ。
4. タオルは八つ折りにした大きさが使いやすい。
5. 建築物清掃は、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」の対象である。
6. トラップは排水管からの臭気等の侵入を防ぐために、水がたまるようになっている。
7. 天井材の条件は、防火、断熱、吸音性である。
8. 人を輸送する設備には、エレベータ、エスカレータ設備がある。
9. デング熱は、ハエが媒介して起きるウイルス性感染症である。
10. 建築構造の構造材料には、鉄骨造と鉄筋コンクリート造が最も広く使われている。
11. カーペット用シャンプーは、発泡性の良い界面活性剤を用いている。
12. 汚れを取り除くために毎日行う清掃作業を定期清掃という。
13. 事務所から発生するごみを事業系一般廃棄物という。
14. 弾性床材には、ビニル床、リノリウム床、ゴム床、繊維床が含まれる。
15. 脚立を使うときに、手が届かない場合は天板の上に乗ってもよい。
16. 汚れの除去は、付着状態によって除去方法が異なる。
17. ビルごみの一般的な分類の中で、雑誌は資源化物ではない。
18. 事業主は、自らの責任において、廃棄物を衛生的かつ安全に処理することが義務付けられている。

19. 建築物内で発生するほこりは、土ぼこりである。
20. 廃棄物処理の中の一時貯留容器とは、紙くず・茶がら入れ容器のことである。
21. 建築物に関する清掃作業のうち、窓ガラス清掃は清掃業務に含まれていない。
22. ごみ・汚れ・ほこりは、多くの不純物や病原体を含んでいる。
23. 床上2m以上の高所作業を行う場合には、安全帯を着用しなくてもよい。
24. 作業の準備を決めることを、段取りという。
25. 洗剤は、適正な濃度で使用する。

3級 学科試験問題

< 正 解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	正
2	正
3	正
4	正
5	正
6	正
7	正
8	正
9	誤
10	正
11	正
12	誤
13	正
14	誤
15	誤
16	正
17	誤
18	正
19	誤
20	正
21	誤
22	正
23	誤
24	正
25	正